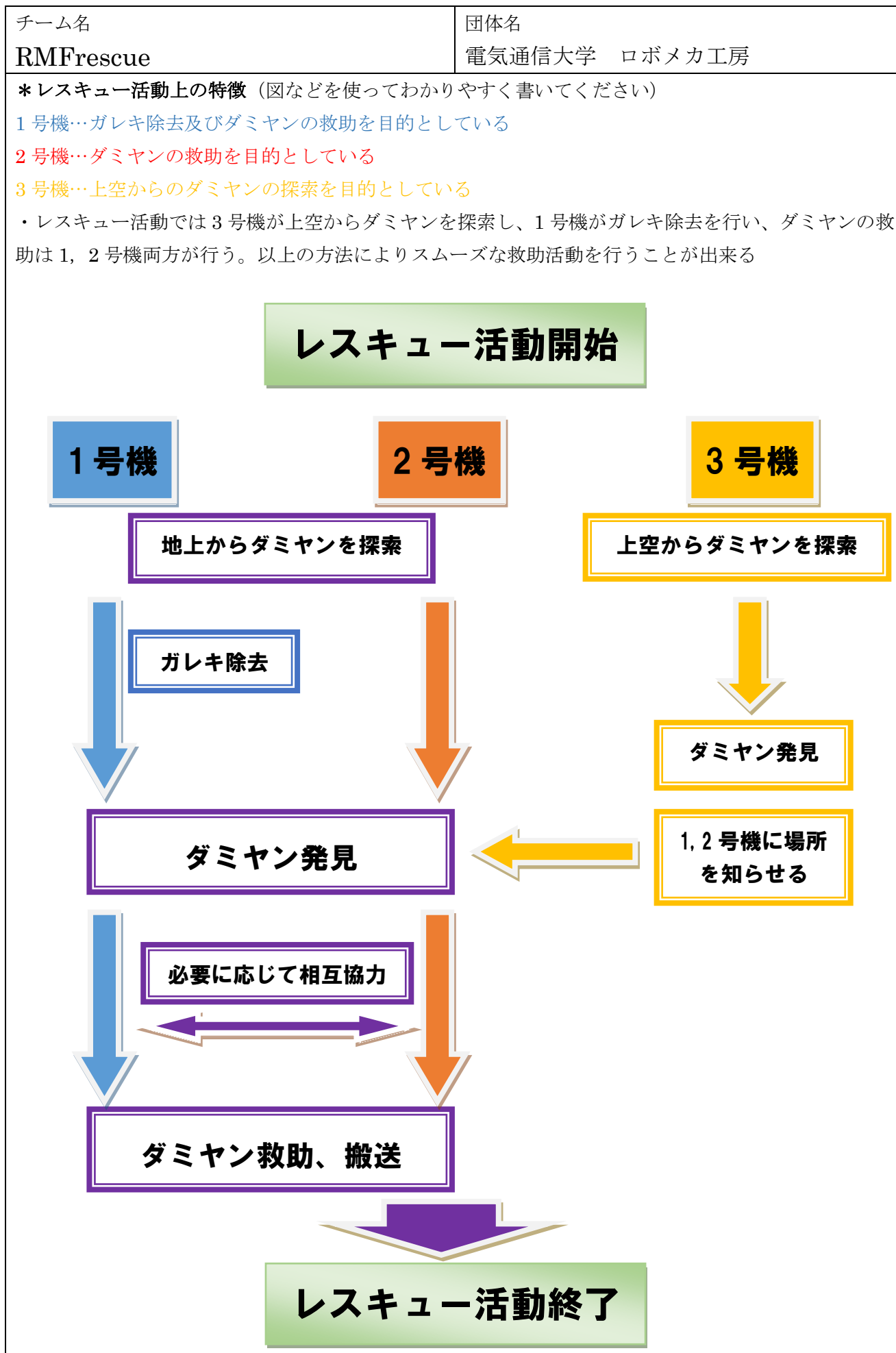


チーム名 RMFrescue	団体名 電気通信大学 ロボメカ工房
<p>応募書類は本選終了後、公開されます。個人情報、メンバー写真等を載せないでください。</p> <p>*チーム名の由来</p> <p>ロボメカ工房(Robot Mechanical Factory)レスキュー部隊(rescue)の略称です。</p> <p>*チームの紹介</p> <p>ロボメカ工房は、電気通信大学の智能機械工学科公認サークルです。学部1年生から3年生が主体的にロボット製作を行っています。主にロボット競技会への出場を目的とし、出場する大会ごとに部隊というチームに分かれて活動しています。また、小中学生参加のロボットコンテスト(D2 ロボコン)を主催するなど、地域貢献活動も行っています。</p> <p>レスキュー部隊では、レスキューロボット競技に出場するために、レスキューロボットの製作をしています。</p> <p>*チームのアピールポイント</p> <p>“楽力”</p> <p>電気通信大学は、「楽力によって拓く創造的ものづくり教育」を行っています。楽力とは、学習、想像、仕事といった活動を楽しむことのできる能力のことを指します。</p> <p>楽力教育によって培きた“ものづくり”、特に“ロボット製作”に対する熱意は、どのチームも負けません。</p> <p>これまで私たちは、レスキューロボット競技に出場し、ロボット製作の技術や知識を学んできました。今回で3回目の参加となりますが、前回、前々回の大会での経験を踏まえ、より良いレスキューロボットを製作し、出場します。</p>	



チーム名 RMFrescue		団体名 電気通信大学 ロボメカ工房		
第 1 号機	ロボット名 (フリガナ) CapCap(カプカプ)	ロボットの構成		
		移動 1 台	基地 台	受動 台

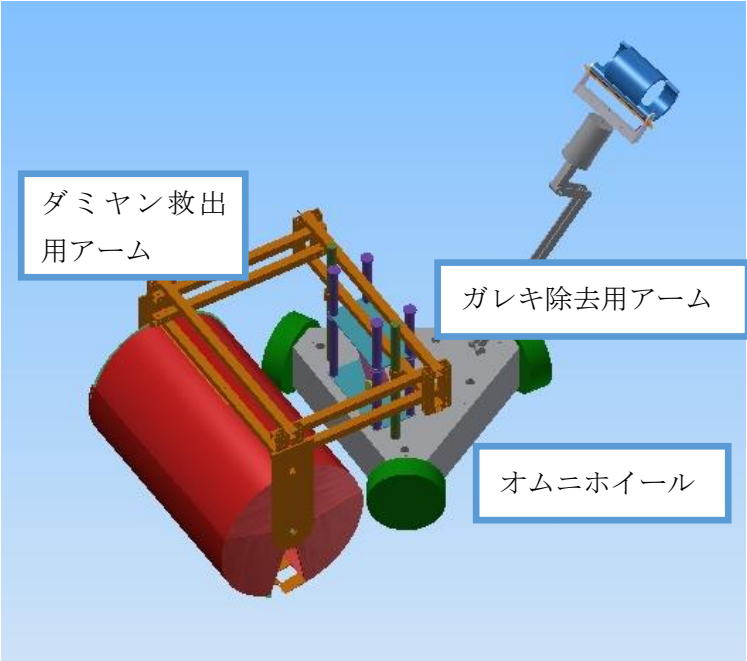
＊ロボットの重要な機能（箇条書きで2つ，具体的に示してください）

- ・3 輪オムニホイールを採用した足回りによる全方位へのスムーズな移動
- ・ダミヤンを確実に救出し、優しく搬送させることを可能にした円形カプセル

＊ロボットの概要（図などを使ってわかりやすく書いてください）

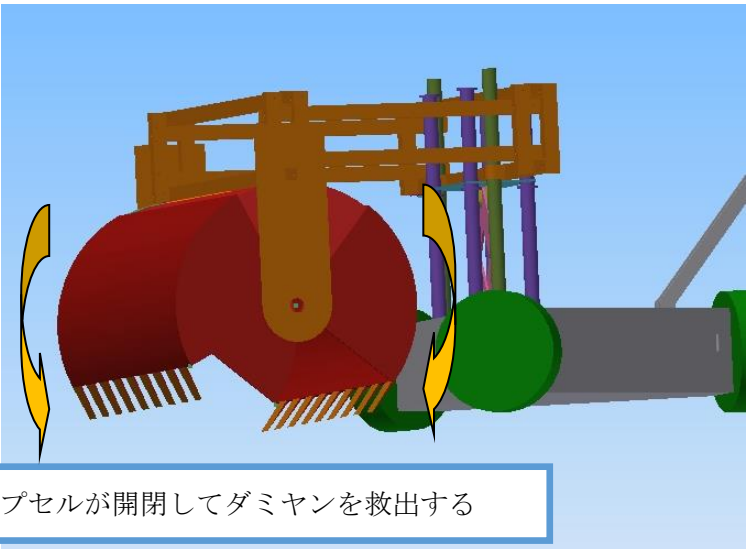
機体の目的

3 号機でダミヤンの位置を探索後、ガレキを除去し、ダミヤンを救助、搬送する。



機体の概要

- ・3 輪オムニホイールを採用し、全方向へのスムーズな移動を可能にしている。小回りが利くため、狭い場所での救助も可能である。
- ・ガレキ用アーム、ダミヤン救出用アームと2種類のアームを搭載している。これによって素早くガレキを除去し、確実にダミヤンを救助する。
- ・ダミヤン救助用アームには円柱カプセル型を採用。カプセルがダミヤン上で開き、カプセルを閉じてダミヤンを救助、搬送する。



チーム名 RMFrescue		団体名 電気通信大学 ロボメカ工房		
第 2 号機	ロボット名 (フリガナ) IsuIsu (イスイス)	ロボットの構成		
		移動 1 台	基地 台	受動 台

*ロボットの重要な機能 (箇条書きで2つ, 具体的に示してください)

- ・アッカーマン機構、サスペンション等を用いた高い運動性能
- ・任意の高さに調節出来るアーム

*ロボットの概要 (図などを使ってわかりやすく書いてください)

機体の目的

3 号機でダミヤンの位置を探索後、ダミヤンの救助を行う。



アームは上下の任意の高さに設定可能

機体の概要

- ・足回りは4輪タイヤを採用することにより、高い運動性能を実現する。また、アッカーマンステアリングを用いてカーブ時、後輪の横滑りを抑えている。
- ・サスペンションを採用することによって路面からのショックを吸収し、ダミヤンにダメージを与えずに搬送するとともに高い走破性を実現する。
- ・ダミヤンを救助するアームはフォークリフト型を採用。任意の高さに設定出来るため、家にいるダミヤンも容易に救助することが出来る。



4 輪タイヤ

サスペンション

アッカーマンステアリング

チーム名 RMFrescue		団体名 電気通信大学 ロボメカ工房		
第 3 号機	ロボット名 (フリガナ) Copter(コプター)	ロボットの構成		
		移動 2 台	基地 台	受動 台
*ロボットの重要な機能 (箇条書きで2つ, 具体的に示してください) ・クアッドコプターによる上空からの広範囲の探索 ・上空からの探索により、地上の障害物に邪魔されず、スムーズに探索出来る				
*ロボットの概要 (図などを使ってわかりやすく書いてください)				
<div>機体の目的</div> <p>上空よりダミヤンの探索を行う。位置を見つけ次第 1, 2 号機にダミヤンの位置を知らせる。</p>		<div>クアッドコプター</div>  <div>ベース車</div>		
<div>機体の概要</div> <p>・このロボットはクアッドコプターとベース車の 2 台で構成されている。クアッドコプターとベース車はケーブルでつながれており電源等はベース車から供給する。</p> <p>・クアッドコプターには地上を見渡せるカメラが搭載されておりフィールドの全体を見渡し、素早くダミヤンを探索し、1, 2 号機にダミヤンの場所を知らせる。</p>		 <div>カメラ</div>		

参加申込書記入に関する留意事項

○一般的な事項

- ・参加申込書のチーム紹介用紙とロボットアイデア用紙は、競技会終了後公開する予定です。
- ・レスコン公式ウェブサイト <http://www.rescue-robot-contest.org/> にて第14回出場チームの応募書類を公開しています。

トップページ>第14回レスコントップ>書類審査>応募書類公開

(注：公開している応募書類には今回の募集要項や規定に適していない書類もあります。記入に際しては、今回の募集要項、規定、ならびにこの留意事項を厳守してください。)

- ・文字や図などが判読できるように十分留意してください（特にスキャナで読み込む場合）。原則として、CD-R に書き込まれたファイルを元に審査いたします。
- ・チーム名やロボット名は、公序良俗に反しないように命名してください。また、ウェブページやチラシ・ポスターなどをコンピュータで作成するため、特殊な文字は受け付けることができません。また、チーム名やロボット名は原則として申し込み後の変更はできません。ただし、実行委員会が不適当と判断した場合は変更をお願いする場合があります。

○チーム情報用紙 (moushikomi15hyoshi.xls)

- ・「入力用」シートを開き、必要事項をもれなく入力してください。印刷する場合は「印刷用」シートを印刷してください。
- ・チーム情報用紙はエクセル形式のまま CD-R に書き込み提出してください。チーム情報用紙（1 ページ目）をチーム紹介用紙（2 ページ目以降）などと同じファイル形式にしないでください。
- ・チーム名は10文字以内、フリガナで20文字以内とし、呼びやすい名前にしてください。
- ・団体名は、(所属団体名)のみ、または(所属機関)(所属団体名)で構成してください。後者の例は、「〇〇大学△△研究会」、「〇〇高校××学科」です。「〇〇大学△△学部××研究会」のような三つ以上の所属が並ぶことは認めません。また、教育機関については、工業高等専門学校は「高専」、高等学校は「高校」と表記してください。
- ・「所属」に会社名や学校名を書く場合は所属部署や学科までご記入ください。
- ・キャプテンは原則としてコンテスト終了まで変更できません。
- ・教育機関所属のチームの場合、必ず教職員をチーム責任者として登録してください。
- ・年齢は申し込み時点の年齢を記入してください。
- ・チームへの連絡は連絡先に選択されたキャプテンまたはチーム責任者を通して行います。電子メールによる連絡を主としますので、連絡先に選択された方の電子メールアドレスを正確にご記入ください。どうしてもメールが利用できない場合は、必ず FAX 番号をご記入ください。
- ・キャプテンおよびチーム責任者に連絡がつかない場合、第2連絡先に連絡します。
- ・第2連絡先はチームメンバーである必要はありませんが、必ず連絡がつく方としてください。
- ・携帯電話のメールアドレスをキャプテン・チーム責任者および第2連絡先の電子メールアドレスとして登録することはできません。
- ・採択された場合、連絡先に選択されたキャプテンまたはチーム責任者の電子メールアドレスがチーム連絡用のメーリングリストに登録されます。
- ・チームから実行委員会へ電子メールで連絡する場合は、参加申込書に記載された連絡先に選択されたキャプテンまたはチーム責任者の電子メールアドレスから連絡するようにしてください。
- ・電話連絡は基本的に平日の昼間（9時～17時まで）に行いますので、連絡先に選択されたキャプテ

ンまたはチーム責任者の電話番号は、その時間帯に連絡できる番号をご記入ください。

- ・緊急連絡用携帯電話番号は、競技会の直前などの緊急連絡に使用しますので、チームに至急連絡の取ることのできる番号を書いてください。連絡先と異なる方の電話番号を記入する際には、氏名を併記してください。
- ・応募時に記入した住所等が変更された場合は早急に実行委員会までご連絡ください。
- ・貸与機器の借用を希望し、採択された場合、貸与機器送付先に貸与機器を送付します。荷物の配送に必要な情報を記入してください。

○チーム紹介用紙

- ・チーム紹介用紙には、チーム名の由来、チームの紹介、チームのアピールポイントを1ページ以内で書いてください。1ページを超える内容やURL等で指定された内容は審査の対象外となります。

○レスキュー紹介用紙

- ・レスキュー紹介用紙には、チームのレスキュー戦略、複数のロボットの連携方法、ロボット以外に使用する装置といったレスキュー活動上の特徴を1ページ以内で書いてください。1ページを超える内容やURL等で指定された内容は審査の対象外となります。実現の見込みのないアイデアを書かないでください。

○ロボットアイデア用紙

- ・ロボットアイデア用紙は、ロボットの機数分（同一機種の場合も1機1ページ）提出してください。
- ・分離型も含め、規定に基づきロボットの「機」の単位を決め、1機ごとに1ページずつ作成してください。1機が複数台のロボットから構成されていてもかまいません。
- ・用紙が不足する場合は、該当ページをコピーして使用してください。
- ・1機あたり1ページを超える内容やURL等で指定された内容は審査の対象外となります。
- ・ロボット名は、1機ごとに異なる名前を付けてください。
- ・「ロボットの構成」欄には、ロボット1機を構成するロボットの台数を記入してください。ロボットが分離しない（1機＝1台）場合は、該当するロボットの分類の欄に「1台」とご記入ください。
- ・同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分（X号機とする）のみ1ページのロボットアイデア用紙にアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。
- ・「ロボットの重要な機能」欄には、各ロボットのアイデアにかかわる重要な機能を簡条書きで2つ書いてください。競技会で実現されていない場合はロボット検査で不合格となり、出場が認められません。図やイラストを併用してもかまいませんが、その場合、図やイラストのどの部分が重要な機能に該当するのか、わかりやすく記述してください。また、図やイラストを用紙の下半分の欄に記載する場合は、その旨を明確にしてください。

認められる例（機能が具体的に示されている）

- ・ダミヤンが触れる部分にゴムを巻きつけたアーム ・5自由度のカメラ
- ・電磁石でできた2号機との合体機構 ・ばねを用いたガレキ除去機構 ・マスタースレーブでの操縦
- ・ダミヤンを自動的に認識し画面上表示する

認められない例（機能が抽象的に表現されている）

- ・やさしく救出するアーム ・広く見渡せるカメラ ・他ロボットと合体したレスキュー活動
- ・スピード感あるガレキ除去 ・迅速な救助を行う ・丁寧な操作ができる操縦桿

- 「ロボットの概要」欄には，ロボットの形状や救出方法など，ロボットの全体像を書いてください．この欄に書かれた内容は，そのコンセプトが大幅に変わらない範囲内で変更が許容されます．ただし，実現の見込みのないアイデアを書かないでください．
 - 「ロボットの重要な機構」欄と「ロボットの概要」欄の間に引いてある横線の位置は上下へ変更してもかまいませんが，欄の順序を変えてはいけません．
-
- 質問等は，連絡先 E-mail (office@rescue-robot-contest.org)にて受け付けます．ただし，回答に時間がかかる場合がありますので，応募に直接かわる質問は応募締め切りの2週間前までにお願いします．